

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、毎週新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありませんでしたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
☎096-234-2447(内線331)
✉klg110@town.kosa.lg.jp

京の都で交錯する絵師たちの運命

澤田 瞳子著 / 『若冲』



文藝春秋
小説

奇才の画家、若冲（じゃくちゆう）が生涯挑んだものとは…。今年、生誕300年を迎え、ますます注目される江戸時代中期に活躍した画人・伊藤若冲。緻密すぎる構図や大胆な題材、新たな手法で周囲を圧倒した天才の生涯を、当時の京の都の様子や同時代に活躍した画師たちの人生も交えつつ、生き生きと描き出した読み応えのある本です。

「古事記」を楽しみながら読める本学研教育出版編集 / 『まんがで読む古事記』



学研教育出版
児童書

マンガに描き下ろされた天の岩屋戸、ヤマタノオロチ、因幡の白ウサギ、ヤマタケルなど日本の神話。ストーリーがとても分かりやすく補足解説したコラムもあり、楽しみながら「古事記」の世界を知ることができるので初めて読む人に最適です。ほかにも、源氏物語、南総里見八犬伝などシリーズ全8巻あり、中高生や大人にもおすすめです。

いくつもの荒波を越えた船の航跡

伊藤 玄二郎著 / 『氷川丸ものがたり』



かまくら春秋社
一般書

豪華客船、病院船、復員船、そしてふたたび豪華客船に姿を変えた船「氷川丸」。戦前、戦中、戦後と85年にわたる波乱で多難の航跡を貴重な写真と資料とともにまとめ、平和な時代を生きた現代人に改めて平和であることの意義を問いかける1冊。2015年夏公開の話題の長編アニメーション映画「氷川丸ものがたり」の原作本です。

100歳を超えたからこそ見える世界 篠田 桃紅著 / 『一〇三歳になってわかったこと』



幻冬舎
教養・娯楽

「100歳を超えても、人生は自分のものにできる。100歳を超えたから、見える世界がある。生きている限り、人生は未完成」。今も第一線で活躍する美術家・篠田桃紅が、時には優しく、時には厳しく、人生の生き方、楽しみ方を伝授します。独身を貫き、自由に仕事をしてきた著者の自然体でありながら背筋の伸びた言葉が深く静かに心に届きます。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■開館時間 午前9時～午後5時 ■休館日 毎週火曜日、年末年始 ■貸出冊数・期間 1人5冊まで、15日間

この本に高校生の時に出会い、矢沢永吉という強烈な個性に参ってしまいました。あれから30年以上の時が経りましたが、今なお「矢沢」には10代から還暦を過ぎた男性まで熱狂的なファンがいます。

先日、久しぶりに「矢沢」がテレビに出演していました。60代半ばになっても、気持ちは18歳で広島から夜行列車で上京した少年のままです。

今月の案内人



今泉 経子さん
[社会教育課]

原点を忘れず、スーパースターとして今も全力疾走で輝き続ける彼の姿は、悔し

～ My Favorite Story ～

Read This Story!

私のおすすめ図書

『成り上がり 矢沢永吉激論集』(矢沢 永吉著)

音楽への夢を抱いた少年が、今ではスーパースター・矢沢永吉に。永ちゃんが駆け上がった壮絶なスターへの道のりを描いた「成り上がり」の本。

いほどカッコいい。この本に出会って「成り上がり」という言葉が大好きになりました。

「どんなに由緒正しい家系の立派な紳士でも、先祖がどこかで成り上がったはずだ。自分に合った道を見つけて、そこで成りあがれば良い。だれもがBIGになれる道を持っていると信じている」という彼の言葉が胸を打ちました。

この本は、教科書を見ただけ

でアクビがでる、本なんか何年も読んでいない、矢沢風に言うと「はぐれてるやつ」に読んでもらいたいです。

矢沢永吉というスーパースターが、どのように生まれて輝き続けているかを知ること、自分自身が少しでも「成り上がりたい」と思ってくれたらうれしいです。

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶ 公民館主催講座

「子ども講座」のご案内

町公民館では、公民館主催講座「子ども講座」を次のとおり開催します。

●日時 8月20日(木) 午前10時～正午

●場所 町生涯学習センター

●内容 紙粘土を使ってスイーツやキャラクターを作製

●受講料 無料

●準備する物

作りたいスイーツやキャラクターの絵や写真

●お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)



●公民館講座や町民大学などに関する

お申し込み・お問い合わせ先

町教育委員会公民館事務局

☎096-234-2447(内線321)

✉klg110@town.kosa.lg.jp



りました。
藤本保健師は「熱中症予防はこまめな水分補給が大事であり、成人の場合、1



▲これからの季節に多発する熱中症について学ぶ受講生

7月20日(月)町総合保健福祉センターで、公民館主催講座「ワーキング世代の講座」を開催しました。講師の森田光樹子さん

「ワーキング世代の講座」
7月20日(月)町総合保健福祉センターで、公民館主催講座「ワーキング世代の講座」を開催しました。講師の森田光樹子さん

▶ 公民館主催講座 「ワーキング世代の講座」

日の食事に含まれる水分以外に約1,000ミリリットルを摂る必要です。朝食や水分を取らず、寝不足や体調が悪い状態で暑いところでの長時間の活動には注意が必要です」と熱弁。参加者からは「症状が現れたときは体が動かなくなっていることもあるため、1人で畑仕事に行くときは近所の人に一言告げておくことも大事」との意見も出てほかの参加者もその意見に大きくうなずきました。



▲米粉入りシュークリームと夏野菜パスタを試食する参加者

(岩下1区)の指導の下、「米粉シュークリーム」作りに参加者16人が挑戦しました。各班に分かれてシューク

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

●町学校人権教育部会

6月18日(木)「新規採用者および転入教職員研修会」を開催

6月18日(木)町民センターで、甲佐町学校人権教育部会「新規採用者および転入教職員研修会」が開催されました。

同研修会は、甲佐町人権教育推進協議会が同和問題をはじめ、あらゆる人権問題の解決に向け、すべての教職員の基本的認識を図り、本町における人権教育の充実と発展に努めることを目的に開催するものです。

研修会では、今年甲佐中学校に転



入した先生たちがグループ討議を実施。「差別は人の心の奥底に根強くある」、「自分の差別意識にハッとさせられた」などの意見が出て、研修の最後には、「甲佐で同和問題について学び、すべての出会いを大切にしたい」という思いを強めました。

参加者からは「同和問題に関して分らなかったことが質問できて勉

強になりました」、「もっと話を聞く機会を増やして同和問題について理解を深めたいです」と、同和問題に対する自身の思いを変えようとする積極的な意思が見られました。

同和問題について素直に積極的に学び自分を磨く先生たちの気持ちは子どもたちへのより良い教育につながります。



●人権に関するお問い合わせ先

町教育委員会社会教育課

☎096-234-2447(内線324)

✉klg110@town.kosa.lg.jp

